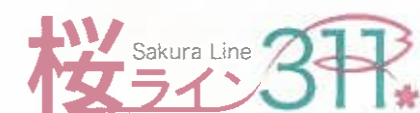


法人第十期
2020.7 - 2021.6

桜ライン311 活動報告書

Sakura Line 311
ANNUAL REPORT 2020



認定特定非営利活動法人 桜ライン311


〒029-2205 岩手県陸前高田市高田町字大隅93-1

高田大隅つどいの丘商店街12号

0192-47-3399 (TEL/FAX)

info@sakura-line311.org

<https://www.sakura-line311.org>

後援： 岩手県陸前高田市

私たちは、悔しいんです。

二〇一一年三月十一日、東日本大震災が発生し、一時間以内に東北各地を津波が襲いました。

陸前高田市でも多くの人が時間を止めました。

その後、「実は、今回と同規模の津波が三陸沿岸を飲みこんだ記録や痕跡がありました。」との、ニュースが流れていました。

十メートルを超える津波の可能性が、震災前から声高に叫ばれていれば！

震災前の防潮堤には、限界があることを知らされていれば！

津波によって奪われた命は、もっと少なくて済んだのではないかと？

その思いが、今も頭を巡ります。

私たちは、悔しいんです。

その思いを同じくする者が集まり、「桜ライン311」を立ち上げました。

次の時代が、この悔しさを繰り返すことのないように、

今回の津波の到達点を桜の木でつなぎ、後世に伝えたいとおもいます。

現在、瓦礫撤去が進み、津波の到達点がぼやけ始めている今、一日も早く、やりたいんです。

でも、私たちだけでは、限界があります。

皆さんの力を貸してください。お願いします。

(二〇二一年十月)

撮影日：2021年4月22日

植樹日：2018年2月26日 左から5本カワソザクラ（米崎小学校卒業記念植樹会）

、2018年3月24日 右中央6本オオヤマザクラ（2018年春の植樹会）

2011

実行委員会を設立

きっかけは、陸前高田市戸羽市長の著書「被災地の本当の話をしよう」の中の「桜を植えたい」という一文。主体は、陸前高田市青年団体協議会・認定NPO法人難民支援協会・一般社団法人SAVETAKATA(現トナリノ)の3団体。



任意団体「桜ライン311」を設立
陸前高田出身の当時30代から40代前半の若者が集い活動を開始する。米崎小学校仮設住宅集会所を間借りし、事務所とする。

東京・名古屋・大阪の3都市で「報告会」を実施



事務所の引っ越し
仮設住宅の集会所から、高田町大隅にある一般社団法人SAVETAKATAのシェアオフィスに引っ越し。



Facebook運用開始

HPを開設

Twitter運用開始

FUJI ROCK FESTIVAL'13 NGOヴィレッジに出演(アパロンフィールド)ステージトーク【つながりがつくる未来～東北復興の現場から～】に出演



鹿による桜の食害対策のため、市民団体夕張桜守へ研修に行く



「桜ライン311マンスリーサポーター」を開始
クレジット決済で行う定額寄付制度



初めての学校植樹会
普及啓発事業の一環として、一関市立桜町中学校と植樹に取り組む。続き岩手県立住田高等学校の植樹を実施。



監督小川光一制作の団体を題材とした映画、陸前高田ドキュメンタリー「あの街に桜が咲けば」を全国上映



認定NPO法人として認定を受ける
「特定非営利活動促進法の一部を改正する法律」に基づき、国税庁長官より認定



経費削減のため、2012年から続いた3都市(東京・名古屋・大阪)での「報告会」を中止し、活動報告書の発送に転換



大阪にて「報告会」を実施するも、東京・名古屋では台風19号の影響により中止

KESEN ROCK FESTIVAL'16 実行委員会主催の「ケセンロックフェスティバル」気仙ブースに出演



団体が主催となり、東京にて「減災会議 もう一つの桜ライン311」を開催



第1期

法人「特定非営利活動法人 桜ライン311」を設立



一般財団法人 日本ファッション協会 日本クリエイティブ賞を受賞



第1回桜ライン311植樹会

高田町洞の沢「浄土寺」に、スタッフとボランティアが集い植樹活動を開始。この時、浄土寺には神奈川川足柄上郡松田町から届いた4本のカワヅザクラと神奈川知事から届いた玉縄桜1本を植樹。同日、市内に34本の植樹を完了する。



第2期

メールマガジン「桜ライン311Letter」配信開始



春の植樹会で累計植樹本数500本を達成

社会貢献プラットフォーム「gooddo」開始
gooddo株式会社が運営するサイトで「いいね」1回で10円が寄附になる仕組み(2018年1月まで)



全箇所確認を開始
植樹した苗木を1本1本、生育状況を確認していく



実験的な試みとして「草刈り会」を実施



公益財団法人日本デザイン振興会 GOOD DESIGN AWARD 2014 金賞を受賞

第4期



一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会 第1回ジャパン・レジリエンス・アワード優秀賞を受賞



Yahoo!JAPANネット基金「桜ライン311」ページ開設
Tポイントやヤフーウォレットなどを利用した寄附の仕組み

第5期



秋の植樹会に安倍晋三内閣総理大臣(当時)が参加

- (植樹チーム)
- (植樹チーム)
- 11月入局(植樹チーム)
- 12月入局(会計事務兼広報チーム)
- 10月副代表理事を辞任
- 10月副代表理事に就任



3月入局

7月副代表理事を退任し、7月理事に就任

代表理事に就任



10月入局



副代表理事に就任(団体創設メンバー)



9月事務局長に就任(団体創設メンバー)
10月事務局長を退任し、副代表理事に就任
理事に就任(団体創設メンバー)

震災体験

- 東京都 岡本翔馬
- 東京都 伊勢友紀
- 陸前高田市 佐々木良麻
- 陸前高田市 佐々木正也
- 秋田県横手市 矢作彩子
- 陸前高田市 佐藤一男
- 愛知県瀬戸市 太田海
- 陸前高田市 中井勝義

2014 2013 2012

2016

★ 公益財団法人
ソロプチミスト日本財団
社会ボランティア賞を受賞



★ 台風10号により甚大な被害
を受けた岩手県下閉伊郡
岩泉町へ、ボランティアと
して団体参加



★ 「東北みらい創りサマースクール」
実行委員会
第6回東北みらい賞を受賞



2018

★ Instagram運用開始

★ 監督小川光一制作の団体を題材とした
映画、防災啓発ドキュメンタリー映画
「いつか君の花明かりには」全国上映



★ 「Syncable」(Brand Pledge)開始
株式会社STYZが運営する、ブランド品(古着
やカバンなどの不用品)買取サービス「ブラ
ンディア」と寄付プラットフォーム「Syncable」
との共同サービス

★ HPリニューアル

第5期



★ 春の植樹会で参加ボランティア
累計人数3000人を突破



★ 桜の植樹本数累計
1000本を達成

植樹した個所数は、活動を開始
してから陸前高田市内の
212箇所

第7期

★ 「チャリボン」開始

古本を株式会社バリューブックスが買取り、
その査定額が寄附になる仕組み

★ 社会貢献プラットフォーム
「gooddo」寄附内容の変更
「楽天」での支援(購入額の0.5%~
が寄附になる)の取り組みを開始



★ 株式会社毎日新聞社
第7回「地球未来賞」クボタ賞を受賞

第6期

★ 公益財団法人日本さくらの会
平成29年度さくら功労賞を受賞



★ 国土交通省手づくり郷土(ふるさと)賞
一般部門グランプリを受賞



2019

★ 認定NPO法人の更新
「特定非営利活動促進法の一部
を改正する法律」が新制度となり、
所轄庁(都道府県の知事又は指定
都市の長)により「認定」を更新



★ 吉野正芳復興大臣(当時)
より感謝状を授与



★ ボランティア人数
累計5000人を突破
植樹会の参加者・運営スタッフ、
苗木のメンテナンス作業などに
参加した方の累計人数



★ 事務所の引っ越し
一般社団法人SAVETAKATA
のシェアオフィスから、現在の
事務所に引っ越し



第8期

★ オンライン寄付サイト
「Give One」開始
公益財団法人パブリックリ
ソース財団が運営する寄付
サイトに登録完了



★ 学校植樹会で累計植樹
本数1500本を達成

★ ふるさと納税返礼品
「きふと」開始
思いやり型返礼品プロジェクトと
して、ふるさと納税していただいた
金額の一部が寄附される仕組み



★ 活動の指針となるVMV
(Vision/Mission/
Value/Credo)を策定



第9期

★ 気仙管内在住者(陸前高田市・
大船渡市・気仙郡住田町)を限
定とした秋の植樹会を実施



★ 秋の植樹会で参加ボランティア
累計人数6000人を突破



2021

第10期

★ 新型コロナウイルス蔓延防止
対策として、春の植樹会・学校
植樹会を初めて中止



★ 春の植樹会で累計植樹本数
1800本を達成



4月新卒入局(広報チーム)



9月入局(植樹チーム)



3月防災士の民間資格を取得

岡本翔馬

10月副代表理事に就任

伊勢友紀

10月事務局長に就任

佐々木良麻

佐々木正也

矢作彩子

佐藤一男

太田海

中井勝義

スタッフ年表



桜ライン311は、二〇二一年六月三十日に期末を経て、七月一日より法人第十一期目を迎えることができました。こうして事業を継続して行くことが出来たのも、一重に皆さまのお力添えによるものより感謝申し上げます。

未曾有の災害と言われた東日本大震災の発生から十年の月日が経ちました。

二〇一一年十月、まだ町の至る所に瓦礫が残るなか、仮設住宅の小さな集会所でこの事業が始まりました。

今も変わらず根源的な思いとしてこの活動を支えている「私たちは悔しいんです」という言葉は、この時に集まっていた十人ほどの思いでしたが、今では携わってくださる皆さまの共感や様々な思いも加わり、この事業を拡げてくださっているのだと強く感じています。それは組織としてとても心強く、私たちの活動の原動力となっています。

当時を思い返すと、活動資金も知識もないなか「陸前高田市に避難の目印となる桜の並木を作る」という使命感と「次の大津波によって大切な命が失われることのないように」という思いだけで乗り切っていました。

「いつまで維持できるか」ということはその当時より懸念としてありました。十年間、こうして設立より事業を拡大・継続出来ていることは、皆さまのおかげであり感謝の気持ちでいっぱいです。事業が拡大したものの一つに普及啓発事業があります。震災から十年が経過した現在においても、多くの講演の機会をいただいています。防災減災は一時的に行うことではなく、恒久的に取り組むべきテーマです。理解して下さっている皆さまが増え続けている、その結果が事業の拡大という形で現れているのだと思います。そして、私たちが望む未来へと着実に前進しているのだと感じています。

設立時、私は副代表理事でしたが、二〇一三年に前任から引き継ぎ代表理事に就任しました。前任の代表は、思いを言葉に乗せることに長けており、活動に対する多くの共感を集めていました。私が、その役割を引き継ぐことが出来るのか、不安の中でのスタートではありましたが、各所でお話させていただく中で「代表が代わっても、引き続き応援します」といった励ましのお言葉を多くいただきました。多くの皆さまに背中を押していただき、支えていただいた結果、今日まで代表として組織と活動を継続することが出来ました。今後も皆さまからいただいた言葉に込められた思いに応えられるよう日々研鑽を積みたいと思っています。

二〇二〇年から猛威をふるう新型コロナウイルスの収束が見通せない社会情勢の中、活動の歩みを止めないよう模索を続けたのがこの一年でした。専門家やご支援いただいた皆さまのご意見を仰ぎ、二〇二〇年の秋の植樹会からは感染対策を取り入れた新たな植樹会の形式を実施しています。結果として桜のラインは千八百五十八本まで増えています。

桜ライン311は、多くの人の命が失われたことから生まれました。いつかきつと、私たちの指針となるビジョン「災害で生まれる悲しみを二度と繰り返さない未来を創る」社会を実現できるよう、思いに共感してくださる皆さまと手を携えながら、次のステージに向けて歩み続けたいと思っています。

第十一期も引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いたします。

認定特定非営利活動法人 桜ライン311

代表理事 岡本 翔馬



※ 建物は、陸前高田市役所新庁舎。2021年4月8日竣工。
(2011年3月11日、東日本大震災津波により庁舎は全壊した)
※ 桜の品種、カワツザクラ。2011年11月6日植樹。

桜による伝承活動

桜ライン311の二本柱の一つである植樹事業は、東日本大震災の津波の最高到達点に桜を植えて、後世に分かりやすく避難の目印を伝えることを目的としています。

これまで毎年春と秋、それぞれ数百人規模での植樹会を開催してまいりましたが、二〇二〇年秋からは新型コロナウイルス感染症対策を講じた新しい形式での植樹を実施しております。第十期は百三十五人の方にご参加いただき、九十七本の植樹が完了しています。これにより二〇二二年六月末時点で植樹実績は千八百五十八本となり、活動にご参加いただいた方は六千七百五十九名となりました。

このような情勢の中でも歩みを止めずに植樹を実施することができたのは、皆さまのご理解ご協力あつてこそと感じております。

一方で緊急事態宣言等の発令により、日程の変更やご参加をお控えいただいた方もいらっしゃいました。ご迷惑をおかけいたしました皆さまには心よりお詫び申し上げます。

コロナ禍の影響は、いつまで続くか不明です。当団体でも医療の専門家に相談しながら、安全に留意した植樹会の方式を決定してまいります。

植樹地をまわると、東日本大震災を経験した者さえ、ここまで津波が来たのかと思う場所が多く、百年後、千年後に同じような地震・津波が想定される時に「まさかここまで来るはずがない」という考えで、十分に逃げることをしない人がいることが危惧されます。毎年、桜が咲くたびに「なぜここに桜が並んで咲いているのか」をこの街の住民が次の世代に語り継ぐことで、避難の目安として伝えることを期待しています。こうした次世代への引き継ぎは「学校植樹会」という形で、少しずつ伝承の輪を広げています。第十期は、県内の小中高校生を対象に九回の

学校植樹会を行い、二百八十名の児童生徒が四十四本の植樹を行いました。

学校植樹会は、十年前に起きたことや桜ラインの意味、これから大人になる児童生徒たちに取り組んでほしい防災などを伝える、防災教育としての大切な役割も担っています。

「最低でも桜ラインの桜まで逃げる」というシンプルかつ明確な避難のメッセージを、植樹体験を通して身に付け、後世につないでほしいと願っています。

植樹本数が増えると、当然ですが、管理本数が増えます。植樹に関わってくださった皆さまや、植樹を許可してくださった地権者さまの為にも、その桜がしっかりと桜並木になるように管理していく必要があります。

元気に育っているか、虫がついていないか、病気になっていないか、鹿に皮を食われていないか、台風などで倒れていないかなどの確認を毎年一本一本行っています。

春植樹終了後の四月から秋植樹開始直前の十月までは、手入れ作業と並行し、草刈り、竹刈り作業の繰り返しです。今後も植樹と草刈り等へのご参加を皆さまに呼びかけながら、地域と一体となり管理を進めてまいります。

桜ライン311の桜は、次の大津波の際に本人だけでなく、家族友人の命も守ってほしいという願いを込めています。その為に関わっていただいた全ての人に防災への関心を持っていただければと思います。私たちが感じた「悔しさ」が、日本中のどこでも繰り返されることのないように活動を続けてまいりますので、これからも見守ってってください。



01) 桜がすくすく成長できるよう、雑草の草刈り。 02) 桜のメンテナンス(全箇所確認)を行う様子。 03) 陸前高田市立高田第一中学校の生徒とともに植樹。 04) 陸前高田市立米崎小学校 植樹会の様子。 05) 秋の植樹会 親子3代で桜を植樹。 06) 春の植樹会 鹿害を防ぐために鹿避けネットを設置。

学校植樹会一覧

2020年11月 5日	花巻市立西南中学校
2020年11月 6日	陸前高田市立小友小学校
2020年11月13日	陸前高田市立米崎小学校
2020年11月19日	陸前高田市立高田小学校
2020年11月26日	陸前高田市立広田小学校
2020年12月 2日	岩手県立住田高等学校
2021年 3月 3日	陸前高田市立気仙小学校

植樹会一覧

2021年 3月12日	陸前高田市立高田第一中学校
2021年 3月18日	岩手県立大東高等学校
2020年11月14日	秋の植樹会(10組48名)
~12月13日	※岩手県内在住者に限定
2021年 3月10日	春の植樹会(22組84名)
~3月28日	
2021年 3月22日	理事植樹会

植樹実績推移

2011年	34本 (18箇所)
2012年	376本 (100箇所)
2013年	647本 (161箇所)
2014年	766本 (188箇所)
2015年	932本 (201箇所)
2016年	1,088本 (228箇所)
2017年	1,324本 (268箇所)
2018年	1,420本 (284箇所)
2019年	1,575本 (314箇所)
2020年	1,705本 (333箇所)
2021年	1,869本 (368箇所)

累計参加人数

2011年	57名
2012年	697名
2013年	1,412名
2014年	2,143名
2015年	2,779名
2016年	3,535名
2017年	4,443名
2018年	4,779名
2019年	5,780名
2020年	6,341名
2021年	6,759名

※2021年4月末時点の植樹実績・参加実績になります。



避難が当たり前になる時代を目指して

「被災経験のない人の『他人事』を『自分事』に変えたい」という思いから、当団体では全国各地で講演活動を実施しております。陸前高田市にお越しになる事が難しい方にも、お住まいの地域で防災減災を考えるきっかけとして、また当団体の活動を知っていただく機会として活動の一つの柱となっています。

第十期は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、イベントが開催しにくい状況となりました。普及啓発事業としてはご依頼件数が最も少ない一年となりました。一方でオンラインでのご依頼が増え、小学校から大学までの教育機関や企業さまより多くのご依頼をいただきました。合計十七回、九百五名の方に参加いただき、法人設立時からの累計聴講者数は二万八千八百八十五名となりました。講演内容は東日本大震災や防災減災に関わるイベント、NPOの運用や寄附の募集に関わるものなど様々ですが、こうしてお話する機会をいただけても当団体の活動への「参加」と「支援」の一つであると感じています。ご依頼をいただきました皆さまに心から感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

残念ながら毎年のように日本全国で豪雨災害が発生し、被災地と呼ばれる場所が増えています。異常気象という言葉は随分と聞くことがなくなり、この状況が一般化しつつあるのだとも感じています。そんななか五月二十日から避難情報の発令に関わるルールが変わりました。警戒レベル4の避難勧告が廃止され、避難指示という明確な設定になっています。この警戒レベル4が発令されたら、即避難していただくことで被害はかなり軽減されます。しかし避難しない人が

非常に多いのが実情で、「なぜ避難する人が増えないのか」という災害研究も進められています。西日本豪雨（二〇一八年）の際の避難に関わるアンケート※では「避難する必要性を感じる状況にあったが、避難しなかった」と回答した人は八十四%を占めました。その中で四十二%の方がその後、自衛隊等に救助されたと答えています。避難しなかった理由で多かったのは「家の方が安全だと思った（四十九%）、自分の周辺は大丈夫だと思った（四十四%）」というものです。西日本豪雨の死者・行方不明者は二百三十一名にもなりました。最終的に避難するかしないかはご自身の判断となりますが、避難すること救えた命は多かったです。当団体としても防災減災の基本として「即時避難」を多くの方にお伝えしています。今後も皆さまと一緒に命を守るための行動を考え、東日本大震災の経験を次に活かせるような普及啓発活動に取り組んでまいります。

第十期においても緊急人道支援を目的とした募金活動を実施いたしました。二〇二〇年七月に発生した「令和二年七月豪雨」は熊本県に、二〇二〇年十月にトルコ西部エーゲ海で発生した地震・津波被害については認定特定非営利活動法人難民を助ける会（AAR JAPAN）さまに、皆さまからお預かりした募金をお送りしております。当団体の緊急人道支援口座にご入金いただいた皆さま、そして市内の募金箱設置にご協力をいただきました事業者の皆さま、募金をしてくださった全ての方に御礼を申し上げます。

※出典：二〇一八年秋発行 地域防災実践ノウハウ（九十七）
—西日本豪雨…住民が避難しない理由と対策—



01) 高田松原津波復興祈念公園で、海を望みながら大学生に講演する様子。 02) 義援金募金箱を設置。
03) 花巻市立西南中学校 講演会の様子。 04)、05) 陸前高田市立高田東中学校の総合学習。

義援金募集

熊本南部豪雨義援金募集		トルコ西部地震津波義援金募集	
発 生	2020年 7月 4日	発 生	2020年 10月 30日
実施期間	2020年 7月 6日～ 8月17日	実施期間	2020年 11月 2日～ 12月 7日
募金総額	123,341円	募金総額	29,536円
送 金 先	熊本県	送 金 先	認定特定非営利活動法人 難民を助ける会(AAR JAPAN)

募金活動にご協力頂いた店舗一覧 (50音順)

居酒屋 膳	川の駅 産直よこた	旬味旬彩 鮭まつ田
伊東文具店	キャピタルホテル1000 株式会社	食堂カフェ仙華園 × クレープ仙菓園
おかし工房 木村屋	熊谷珈琲店	中華食堂 熊谷
菓子司 東海堂	コワーキングスペース ヤドカリ	やぶ屋
Cafe Yuki Grandpa(大船渡市)	SAKE's BAR 酒場 THE 陸丸	陸前高田市立小友小学校
カフェレストランクローバー	産直はまなす 陸前高田	陸前高田市ユニバーサル就労支援センター
カレーとてづくりおやつフライパン	ジャズ喫茶 h. イマジン	陸前高田 箱根山テラス



防災減災だけではなく「まちづくり」の一環として

政策提言事業は桜並木をまちづくり計画の一部として活用してもらえよう提言し、事業実施していくことを目的とした事業です。桜を育てていくなかで徐々に文化となり、歴史となり、桜と街と人が支えあうような未来を目指しています。

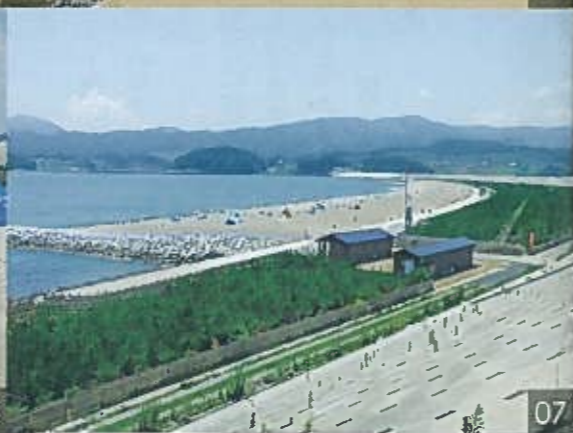
陸前高田市は二〇二二年三月三十一日で概ねの復興工事を終えました。景観や植栽、まちづくりという分野はこれからが本格的な着手期間となります。当団体が全国の皆さまと進めてきた「減災のための桜並木」も、中長期的に俯瞰すると、まちづくりに関わる分野でもあります。こうしたまちづくりの一助として陸前高田市の植栽計画との協調を図り、行政所有地への植樹も進めています。市の中心部である高田町の高上げに続き、気仙町今泉地区の高上げ地もほとんど完成しました。第十期も陸前高田市と工事関係者との連携のもと植樹許可をいただき、行政所有地への植樹本数は百五十五本となりました。多くの住民の目に留まる場所でもあることから、整地や植樹の際には励ましや感謝の言葉もいただきました。この桜ラインが、最終的には地域住民と全国から訪れる皆さまにとっての共通の財産として深く愛されるよう、この街に関わるあらゆる人が携われるような事業展開を整えていきたいと思っています。

当団体では二〇一四年から祈念公園設置に関わる有識者委員会への参加を中心に継続的にまちづくりへの提言を行ってまいりま

した。二〇一九年には祈念公園の中核施設となる東日本大震災津波伝承館及び道の駅がオープンし、整備された震災遺構の中に一般の人も入れるようになりました。二〇二〇年六月には運動公園のエリアも使用可能になりましたが、その周辺の整備は現在も続き、利活用を含めた議論と企画に関わるグループ代表者会議も定期的に行われています。

また、祈念公園内で実施予定の「全国植樹祭」への参画に関しても、関係各所との協議が始まっています。全国植樹祭は毎年全国で実施されており、岩手県での実施は四十九年ぶり二度目となります。二〇二三年五月頃の開催予定で「緑をつなごう輝くイーハトーブの森から」というテーマで、震災復興からの明るい未来を表しています。当団体でも活動での経験をもとに、植樹する樹種の選定や、苗木のサイズ、植樹の際の手順、植樹後の管理の必要性についてお話をさせていただきました。今後も当団体が実施してきた植樹会の経験をお話させていただきながら、多くの方が参加できる機会となるよう、関係各所との協働を進めさせていただければと思っています。

私たちの活動趣旨は、震災の風化防止と伝承が目的です。また、多くの方の共感で成り立つ組織でもあります。皆さまのご期待を預かり運営する組織として、趣旨から反しない形で、陸前高田市に少しでも貢献できるような関わり方を引き続き模索してまいります。



01) 気仙川河口付近。山の中腹には気仙町の高台移転先が見える。 02) 高田松原津波復興祈念公園と古川沼。右下に見えるのは広田湾。
 03) 震災遺構の一つ「タピック45」(旧道の駅高田松原) 04) 高田松原津波復興祈念公園内の奇跡の一本松へ続く道。
 05) 海側から見た「タピック45」 06) 震災遺構の一つ、旧陸前高田市立気仙中学校。 07) 高田松原海水浴場。約4万本の松が植樹されている。
 08) 11年ぶりにオープンした高田松原海水浴場。



コロナ禍での新人教育の難しさ イベント自粛の中でのご支援

二〇二〇年四月、常勤スタッフとして一名を新卒採用してから一年が経過しました。一般企業と同様のビジネスマナー研修を行ったものの、くしくもコロナ禍とあって来客なども減り実践する機会が少ない一年となりました。

団体活動の大きな役割を担う植樹会も中止や小規模開催となり、人との触れ合いの中から生まれるコミュニケーションスキルも伸びせぬまま、その機会が失われてしまったことは非常に残念に感じています。情勢が落ち着いたらのち、対面において多くの人と関わることで社会人として大きく育つていくことを願っています。

一方で新人教育における各種の研修は、オンラインによるものが多くなり積極的に取り組むことができました。

Yahoo!基金主催、日本NPOセンター・朝日新聞ジャーナリスト学校協力で実施している「知らせる力プロジェクト」プロのジャーナリストに学ぶ書き手講座」を受講したことをきっかけに、約四か月オンライン上でプロのジャーナリストに伴走していただき、太田が記事を書きあげました。「サクラの花が津波の記憶を伝える街に 大震災十年で植樹いま千七百八十九本」と題したこの記事は、二〇二二年二月Yahoo!ニュースに掲載され多くの人の目に留まることとなりました。オンラインだからこそ参加できた研修、セミナーなども増え、これまで手薄だった広報分野のスキルを磨けたことは大きな収穫にもなりました。

また、研修の成果として、複数の広報物の作成にあたり、新規リリースや各種チラシが完成しました。広報物の制作費は、東日本大震災現地NPO応援基金の助成金を活用させていただきました。

広報スタッフが増員されたことで、SNS等（ホームページ・フェイスブック・ツイッター・インスタグラム）の投稿回数も増え、広報活動にも厚みが増したと感じています。今後も活動のご報告として、皆さまに良い広報発信ができるよう努めてまいります。

第十期は長引くコロナ禍の影響で、支援者さまが計画していたチャリティーイベントや企画の中止など残念な声も聞かれました。

しかし、そのような状況下においてもチャリティー商品の販売等を実施いただいた企業さまもあり、何度も綿密な打ち合わせを重ね、当団体の思いを組み込んだ商品を制作いただきました。

そのうちの一家である株式会社東急百貨店さまは、最も古く二〇一二年より東日本大震災復興チャリティー「咲かせよう。桜ライン。」として特別デザインされた文房具グッズの販売を通し、収益の一部をご支援いただいています。また、初めての取り込みとなったネスレ日本株式会社さまは、販売商品「キットカットミニ桜味」一商品につき十円が当団体へ寄附される仕組みを整えていただき、ご支援いただきました。

コラボレーション企画、チャリティー商品の販売にあたり、ご協力いただきました企業さま、商品の購入によりご支援くださった皆さまに重ねて心より感謝申し上げます。

東日本大震災から十年という節目には大変多くの方よりご寄附を賜りました。改めて御礼を申し上げます。団体として活動する中、試行錯誤を繰り返し至らない点もあつた十年でしたが、今日まで継続できたのもご支援いただきました皆さまのおかげでございます。引き続き日々精進してまいります。



企業さまとの コラボレーション

株式会社バリューブックス

2020年11月16日
チャリボン～本による寄附～
「買取額を10%アップする
キャンペーン」を実施。



株式会社東急百貨店

2021年2月4日
東日本大震災復興チャリティー
「咲かせよう。桜ライン。」
桜ライン311をデザインした「桜
ステーションナリー2点&抗菌マス
クケースセット」税込300円/セットを販売。売上金額
の一部を寄附。



有限会社SORA

2021年3月8日
桜ライン311東北支援キャンペーン
「桜の刻印で手作りチャーム」
手作り体験+シルバーチャームを1000円で販売。
売上金額の全額を寄附。



株式会社バリューブックス

2021年3月29日
チャリボン～本による寄附～
「買取額を10%アップする
キャンペーン」を実施。



企画：株式会社ミチノク
契約者：カフェフードバーわいわい

2020年9月9日
社会貢献型自動販売機「桜ライン311
仕様オリジナルラッピング」の設置。
(契約オーナーより、売上金額の一部
が寄附)



ユニリーバ・ジャパン株式会社

2020年12月21日
「サクラドリーム」(ダウ、ラックス)
商品の販売。
1商品につき10円が寄附。



ネスレ日本株式会社

2021年3月1日
東北支援キャンペーン「想いがつなが
れば、キット、未来がひろがる」
商品名「キットカットミニ桜味」を販
売。1商品につき10円が寄附。



株式会社麺食

2021年3月25日
チェーン店 喜多方ラーメン坂内食堂が
2日間限定「東北復興祭」実施。
喜多方ラーメン1杯で10円を寄附。



キャピタルホテル1000株式会社

通年
宿泊プラン「桜ライン311応援パック」
を実施。宿泊代の10%を寄附。



美しい桜並木を作るための新たな取り組み

桜ライン311では、草刈りや剪定、追肥などの桜の日常の管理にユニバーサル就労を活用する取り組みを開始しました。ユニバーサル就労を活用するきっかけになったのは、樹木の管理にかかるマンパワー不足が顕著になってきたことでした。千八百五十八本という現状の植樹本数は、最終的な植樹目標の約十一％に過ぎませんが、常勤のスタッフだけで十分な手入れをすることが難しい状況が続いていました。特に草刈作業は、適切なタイミングで行わないと若木の生育を著しく阻害するため、夏場の作業の大半を費やしており、今後、更に植樹本数が増えることを考えると、樹木管理の人手不足は大きな課題となっています。

そんな中、陸前高田市において、ユニバーサル就労を支援する「陸前高田市ユニバーサル就労支援センター」が開所し、働きづらさを抱えている方に対する支援の体制が整備され始めました。私たちもこの動きに連動し、同センターの協力を仰ぎ、ユニバーサル就労の導入による業務効率化に取り組み始めました。

また、事業導入にあたっては、「タケダ・いのちとくらし再生プログラム」より管理作業の業務委託費、必要機材の購入、スタッフの視察・研修等に対し助成をいただき、環境整備を行いました。

二〇一九年十二月より就労希望者の受け入れを開始し、これまでに十名以上の方が参加しています。抱える事情は様々ですが、中には震災がきっかけで働けなくなってしまう方もおり、十年が経過してもなお、解決すべき課題が残されているこ

とを痛感させられました。

折しも、今は新型コロナウイルスの影響がある中での活動と なっています。これまでのように全国から樹木管理のボランティアにお越しいただくことが困難な状況にあり、活動内容の転換が迫られています。その中で地元の方々の力で樹木管理作業を行う、ユニバーサル就労の導入は、Withコロナ時代の活動の在り方として、非常に大きな意義があるものと考えています。

一方で実施にあたっては取り組みの難しさも日々感じています。作業の手順や範囲を伝える際に、私たちの言葉が足りず思うように作業ができなかったり、曖昧な指示で支援対象者が作業できず悩んでしまった、ということもありました。一般的な就労が困難でも働いていただける環境を作るには、誰もが理解でき、誰もが取り組み、誰もがやりがいを得られる「活動のユニバーサルデザイン」が必要になると考えています。今後も関係各所との連携を密にし、専門知識を習得しながら、活動内容の改善を進めていきたいと思えます。また、「活動のユニバーサルデザイン」を考えていくことは、老若男女を問わず幅広く桜ライン311の取り組みに参加していただくための基礎になっていくことと思えます。

ユニバーサル就労とは・・・
精神疾患や家族の介護看護、ひきこもりなど、様々な理由で一般的な就労が困難な方に対して、時短就労や不定期就労など、その人の状況に合わせて就労していただく取り組みです。



01)、04)、05) 夏場のメインとなる作業 植樹地の草刈りの様子。
02)、03) 桜の講習会を実施している様子。

タケダ いのちとくらし 再生プログラム

武田薬品 × 日本NPOセンター協働事業

陸前高田市ユニバーサル就労支援センターさま

陸前高田市ユニバーサル就労支援センターは、「働きづらさを抱えるすべての方々」のための支援機関です。開所直後より桜ラインさんからお声掛けいただき、桜の管理業務を就労支援に活用する取組を開始。これまで10名以上の方が作業に参加しました。対人関係に苦手意識を持つ方が多く、黙々と樹々に向き合う作業は社会参加のきっかけにしやすいようです。地域に貢献できるお仕事でもあるので、作業にやりがいを感じ、「陸前高田に生まれて良かった」と思うようになる方もいました。震災から10年。復興の影で、地域から取り残される方々もいます。復興の先にある地域の未来に向け、ひとりでも多くの方と一緒に歩めるよう、取組を発展していければと思います。

陸前高田市ユニバーサル就労支援センター
センター長 & 伴走型支援員 石井優太さん



住民の声から生まれた、避難の目印を設置

はじめにクラウドファンディング「未来に伝える避難の目印として、看板(サイン)を設置します!」を通じて、ご賛同およびご協力いただきました皆さまに心より感謝申し上げます。

活動を始めた当初は、「津波の到達点にある桜を見るだけ辛い記憶を思い出す」「辛くて桜は見たくない」「忘れない」などの声を地域住民から聞くこともあり、住民の方々のお心に寄り添いながら植樹活動を進めてまいりました。様々な事情により、当団体として看板設置はしないというルールを設けました。震災から月日が流れ街の復興とともに住民のお心にも変化があったのかもしれない。徐々に看板設置を望まれる声が届くようになり、東日本大震災発生から十年、同じくして当団体設立十年の節目に、看板及び樹名板の設置を実現しようとしてクラウドファンディングに挑戦することにいたしました。

しかし、先に述べたようにお心の傷がまだ癒えずにいる方もおり、看板の設置場所には公共性の高い市有地および許可をいただいた民有地としました。

このプロジェクトの始まりは、住民の方から寄せられた「どのような意味をもつ桜かを記した看板みたいなものがあるといいんじゃない?」という言葉がきっかけでした。

津波の到達地点となる植樹地には、公共の場所や嵩上げされ整備された公園なども含まれるため、他の植栽と当団体の桜の判別ができない可能性があります。

また、オオヤマザクラなどは植樹してから開花まで七、八年を要する品種もあり、桜と認識されるまで何の樹木が植えられているのか、分かりづらいということもありました。

プロジェクト名:【桜ライン311】未来に伝える避難の目印として、看板(サイン)を設置します!

使用サイト: GoodMorning(寄付型)

実施期間: 2021年2月9日~3月31日

目標金額: 310万円

ご報告内訳: インターネットによる参加

人数 273人
支援総額 ¥3,678,000-
GoodMorning支払手数料 ¥364,122-
(入金額 ¥3,313,878-)

ゆうちょ銀行による参加
人数 85人
支援 ¥1,666,000-

総数
人数 358人
支援総額 ¥5,344,000-
(入金合計 ¥4,979,878-)

サイン(看板)
設置箇所 30箇所
2021年7月上旬 29箇所完了
8月上旬 1箇所完了(現地工事中の為、遅れ)

クラウドファンディングにご参加いただいた皆さま

亀井 隆	東京すずらの会	坂野 経三郎	西野 斉	池田 晃子
菅生 佳世	松坂 定徳	野水 瑛介・冴	伊藤 玲奈	渡部 拓・結香子
長谷部 蔵之進	和田 朋也	木村鉄筋工業株式会社	渡辺 景子	株式会社 石田商会
木内 格志	小柴 徳明	篠宮 武・葉子	株式会社 URリンケージ	三和商事 株式会社
株式会社 ほり川	株式会社 三浦太鼓店	一木 正男	東海林 尚宏	株式会社 デンコードー
田村 真基子	山口 和慶	竹ノ輪 竹村圭介	谷 亮磨	矢作建設工業 株式会社
音楽室さくら咲 la	E-ne!前田 牧絵	一般社団法人プロトレ	木村 大一	近藤 孝義
齊藤 春貴	リュージ	株式会社 edu edge	草場 保彦	岡崎桜まつり太鼓フェス ティバル実行委員会
嶋田 英男	山崎 哲哉	市川 哲也	佐藤 真澄	きゃみ
杜 愁雪	山畑 真然美	鶴岡 裕太	渡辺 飛鳥	高見澤 司
白木 豊	近藤 涉	山崎 照光	会津喜多方ラーメン 坂内 大塚店	小坂塗装
中原 真吾	平森 正春	吉田 守慶	松本 昌之	大庭 竜一
興性寺	内藤 宏章	池田 泰子	中原 元彦	飯塚 伸夫(のぶりん)
浜 美樹	長谷川 伸	竹内 晶恵	加倉井 誠	中尾家
一般社団法人 SAVE IWATE	横山 尚多香	ものづくりの会社 ティーアーム	mihoko komatsu	菊池 美代
中山 美樹子	山田 雅俊	佐藤 匠	佐藤 翔輔	飯嶋 一聖
石川 洋一	平澤 大輔	横井 真理子	吉田 建治	蒲田 哲也
山中 典子	金原 加奈	スズキミエコ	熊谷 哲・数世	ケイエス技研株式会社
有限会社 吉野屋商会	Angel福	名城さくらの会	進藤 桃子	和太鼓 Do-Da・DAN★ GAN
大石 新美	平山 賢治(岩手応援団)	高橋 二郎	星野 明子	
田島 誠一	内田 幸良	NAOMI	リコージャパン 菅原 元	
村上 暁	白石 幸裕			

※ 順不同。敬称略。

※ 氏名掲載は任意となっており、インターネットサイトよりお申込みいただき、掲載氏名の明確な方を表記しています。

大変多くの方にご参加いただきながら、すべてのお名前を掲載することができずお詫言申し上げます。個人情報の観点から本紙面への掲載は任意とし、確認できない方の掲載は控えさせていただきました。また、ゆうちょ銀行からご参加いただいた方につきましても同様に掲載を控えさせていただきました。ご理解の程よろしく願っています。

お詫言

そこで、地域住民だけでなく陸前高田市を訪れた人にも、過去に「ここまで津波が来た」ということが分かるように市有地など人目に触れやすい場所(公共施設、通学路等)に看板や樹名板を設置することにしました。看板には、設置場所の計測を行い「海から〇〇km」「海抜〇〇m」といった情報を表記し、目で確認することで防災意識の向上や過去の経験から有事の際の避難の目安になるようデザインに取り込みました。今まで以上に当団体の桜を身近に感じてもらい、震災の教訓をより多くの方へお伝えできるよう、今後も必要な場所への設置を検討してまいります。

クラウドファンディングの実施期間は、二〇二二年二月九日から同年三月三十一日まで、三百十万円を目標金額としました。このプロジェクトの参加はインターネットサイトによるものですが、インターネットによるご参加が難しい方のために、ゆうちょ銀行からの参加方法も設けました。実施期間中SNS等で「いいね」や「シェア」していただいた皆さまのご協力のもと、三月十九日、目標金額である三百十万円を達成することができました。期間終了時には二百七十三人の方にご参加いただき達成率百十八%となり、ゆうちょ銀行からのご参加は八十五名、合わせますと総額五百三十四万四千円のご支援をいただきました。(金額の詳細は左記に表記)

おかげさまで予定していた三十個の看板を、七月上旬までにはほぼ設置することができ、樹名板も徐々に設置が進んでいます。

看板の耐久年数は十年程度と言われており、今回の余剰分をメンテナンスや増設費用に充て、皆さまの思いのこもったご支援を大切に使用してまいります。



年間活動実績

2020年7月1日～2021年6月30日

2021
2

- 活動 株式会社バリューブックス チャリボン買取価格10%アップキャンペーン 終了
- 講演 一般社団法人トナリノ・特定非営利活動法人wiz主催 復興創生インターン事業 (オンライン講演)
- 活動 株式会社東急百貨店主催 東日本大震災復興チャリティー「咲かせよう。桜ライン。」販売開始
- 活動 クラウドファンディング「未来に伝える避難の目印として、看板(サイン)を設置します!」開始
- 講演 大阪教育大学FILM (オンライン講演)
- 活動 Yahoo! 基金主催 「NPOの知らせる力(ちから)プロジェクト」記事掲載
- 活動 ヤフー株式会社主催 「東日本大震災から10年 のりこえるチカラ」開始



震災から10年
震災の教訓を未来に伝える
看板(サイン)を設置したい!

3

- 活動 ネスレ日本株式会社 東北支援キャンペーン「キットカット ミニ 桜味」販売開始
- 植樹 陸前高田市立気仙小学校 学校植樹
- 活動 有限会社ソラ 「桜の刻印で手作りチャーム」桜ライン311東北支援キャンペーン 開始
- 活動 株式会社ONE COMPATH「桜ライン311応援マップ」更新
- 植樹 春の植樹会 開始
- 活動 ヤフー株式会社主催 「東日本大震災から10年 のりこえるチカラ」 終了
- 植樹 陸前高田市立高田第一中学校 学校植樹
- 植樹 岩手県立大東高等学校 学校植樹
- 植樹 理事植樹会
- 活動 株式会社麺食主催 喜多方ラーメン坂内食堂「東北復興祭」
- 植樹 春の植樹会 終了
- 活動 有限会社ソラ 「桜の刻印で手作りチャーム」桜ライン311東北支援キャンペーン 終了
- 活動 株式会社バリューブックス チャリボン買取価格10%アップキャンペーン 開始
- 活動 クラウドファンディング「未来に伝える避難の目印として、看板(サイン)を設置します!」終了

4

- 講演 ニュートンワークス株式会社 社内向け講演会 (オンライン講演)
- 活動 株式会社バリューブックス チャリボン買取価格10%アップキャンペーン 終了

5

- 活動 株式会社帝国書院「社会科 中学生の地理(世界の姿と日本の国土)」出版
- 講演 新潟市立西川中学校 修学旅行 中止
- 講演 オムロンソーシアルソリューションズ労働組合 リーダーシップ研修 (オンライン講演)

6

- 活動 公益財団法人日本デザイン振興会主催 東京ミッドタウン・デザインハブ第91回企画展「東日本大震災とグッドデザイン賞 復興と新しい生活のためのデザイン」展 開始
- 講演 岩手大学 講義: 地域おこし論
- 活動 桜のお手入れ作業参加者 募集開始

2020
7

- 活動 熊本南部豪雨義援金募金 開始

8

- 活動 熊本南部豪雨義援金募金 送金
- 講演 野田村立野田中学校 修学旅行 陸前高田市視察 中止

9

- 活動 株式会社ミチノク 桜ライン311仕様オリジナルラッピング自動販売機設置
- 講演 岩手大学理工学部先端プログラム「リーダーシップとボランティア」現地視察

10

- 講演 特定非営利活動法人いわて連携復興センター主催 「LINK〜被災三県の「今」そして「これから」も支え合う地域社会を目指して〜」(オンライン講演)
- 講演 盛岡白百合学園小学校 学習旅行
- 講演 陸前高田市立小友小学校 復興学習

11

- 講演 滝沢市立柳沢中学校 被災地訪問学習
- 活動 トルコ西部地震津波義援金募金 開始
- 植樹 花巻市立西南中学校 学校植樹
- 植樹 陸前高田市立小友小学校 学校植樹
- 植樹 陸前高田市立米崎小学校 学校植樹
- 植樹 秋の植樹会 開始

12

- 講演 名古屋市防災危機管理局主催 名古屋市民交流団 防災交流
- 活動 株式会社バリューブックス チャリボン買取価格10%アップキャンペーン 開始
- 講演 陸前高田市立高田小学校 復興防災教育 授業参観
- 植樹 陸前高田市立高田小学校 学校植樹
- 講演 北海道大学 講義: 青年教育論 (オンライン講演)
- 講演 トレンドマイクロ株式会社 社内向け講演会 (オンライン講演)
- 植樹 陸前高田市立広田小学校 学校植樹
- 植樹 岩手県立住田高等学校 学校植樹
- 講演 一般社団法人マルゴト陸前高田主催 国際基督教大学大学院アーツ・サイエンス研究科オンライン授業
- 活動 トルコ西部地震津波義援金募金 送金
- 植樹 秋の植樹会 終了
- 活動 ユニリーバ・ジャパン株式会社主催「サクラドリーム」販売開始



メディア掲載一覧

雑誌・その他	
2020年 11月 1日 (徳島県)広報あなん 令和2年11月号(No.748)	
11月16日 高田松原復興祈念公園市民協働グループ「観でけろ、食ってけろ、行ってけろ!」	
12月 8日 株式会社ミチノク社内報動画	
2021年 1月 8日 認定特定非営利活動法人難民を助ける会 AAR JAPAN	
3月 2日 旅行読売出版社 2021年4月号	
3月19日 株式会社日本カメラ社 日本カメラ2021年4月号	
3月24日 株式会社ミチノク 活動レポート	
3月30日 日本青年団協議会『生きる〜東日本大震災と地域少年の記録』第6号	
4月 1日 市民生活協同組合ならコープ 社内報動画	
4月 1日 公益財団法人花巻国際交流協会 STAR WINGNo.292	
5月14日 株式会社帝国書院 社会科 中学生の地理(世界の姿と日本の国土)	
ラジオ	
2020年 7月 7日 IBCラジオ	3月10日 FMasmo
10月23日 FMねまらいん	3月11日 FM熱海湯河原
11月 6日 FM岩手	3月11日 IBCラジオ
2021年 2月24日 NHKラジオ	3月11日 FMasmo

web	
2020年 11月29日 河北新報社WEB版	
12月 2日 NHK NEWS WEB	
12月29日 株式会社都恋堂	
2021年 2月25日 ヤフー株式会社	
3月10日 共同通信社	
3月11日 株式会社Playce	
3月25日 読売新聞社WEB版	
3月28日 株式会社光文社	
4月 8日 タヤマスタジオ株式会社	
4月12日 タヤマスタジオ株式会社	
4月14日 タヤマスタジオ株式会社	
2020年 9月 7日 株式会社薬王堂	Youtube
2021年 3月11日 シカゴ姉妹都市インターナショナル・大阪委員会 絆プロジェクト	Youtube
6月10日 ネスレ日本株式会社	Youtube
3月11日 ELL.Egirl/エル・ガール	インスタ

新聞			
2020年 7月15日 東海新報社	11月26日 東海新報社	3月 6日 徳島新聞社	3月13日 産業経済新聞社
7月21日 東海新報社	11月29日 河北新報社	3月11日 室蘭新報社	3月14日 岩手日報社
9月10日 東海新報社	2021年 2月 9日 岩手日報社	3月11日 東海新報社	3月18日 東海新報社
10月28日 毎日新聞社	2月11日 岩手日報社	3月11日 西日本新聞社	3月19日 東海新報社
11月 6日 岩手日報社	2月13日 東海新報社	3月11日 京都新聞社	3月31日 徳島新聞社
11月 7日 東海新報社	2月26日 日本電気協会新聞部	3月11日 静岡新聞社	4月11日 読売新聞社
11月22日 東海新報社	2月26日 東海新報社	3月12日 神戸新聞社	4月27日 朝日新聞社
11月25日 東海新報社	2月28日 読売新聞社	3月12日 徳島新聞社	
テレビ			
2020年 7月 7日 テレビ岩手	2021年 2月12日 NHK 盛岡放送局	3月13日 NHK(全国放送)	
7月 7日 IBC岩手放送	3月10日 IBC岩手放送	3月31日 岐阜放送	
8月23日 テレビ岩手	3月10日 NHK 盛岡放送局	4月 2日 岐阜放送	
11月17日 岩手めんこいテレビ	3月10日 CBCテレビ	4月 8日 岩手めんこいテレビ	
11月29日 株式会社ミチノク(CM)	3月11日 東京メトロポリタンテレビジョン	4月14日 IBC岩手放送	
11月30日 名古屋テレビ放送	3月12日 NHK 名古屋放送局	4月20日 湘南ケーブルネットワーク	
12月 2日 NHK 盛岡放送局	3月12日 岐阜放送		
12月 3日 NHK(全国放送)	3月13日 韓国放送公社		

支援企業・団体及びマンスリーサポーター

支援企業・団体

株式会社 アイ・ディ・ケイ
 青森県立弘前高等学校
 アマゾンインク
 飯田市立飯田東中学校
 居酒屋 膳
 一般財団法人 石川県市町村職員等
 ライフプラン協会
 市川若宮道院
 伊東文具店
 猪股さんちのコンサート
 岩手県立大東高等学校
 岩手県立住田高等学校
 国立大学法人 岩手大学農学部
 国立大学法人 岩手大学理工学部
 特定非営利活動法人 いわて連携復興センター
 岩手県 復興局 東日本大震災津波伝承館
 特定非営利活動法人 wiz
 有限会社 上町珈琲
 宇田森
 エイブル FC小牧店 株式会社アルヴェスタ
 株式会社 SSK
 FJK会
 FJホールディングス 株式会社
 大石七夕祭有志会
 国立大学法人 大阪教育大学 FILM
 株式会社 大淀開発
 おかし工房 木村屋
 音の輪会
 お花見茶会有志一同
 オムロンソーシアルソリューションズ 労働組合
 音楽室さくら咲 la
 菓子司 東海堂
 カフェフードバー わいわい

Cafe Yuki Grandpa
 カフェレストラン クローバー
 カラーパーティーウエスト事務局
 カルチュラル・ニュース日本支局(古屋)
 株式会社 カルミア
 カレーとてづくりおやつフライパン
 川の駅 産直よこた
 顔晴っぺ!とうほく元気プロジェクト
 一般社団法人 危機管理教育研究所
 喜多方ラーメン坂内
 蘇我店、浅草店、岩槻店、大塚店、
 金沢文庫店、歌舞伎町店、川口東口店、
 川崎東田店、木更津店、木場店、君津店、
 京橋店、錦糸町店、小岩店、高円寺北口店、
 五反田駅前店、笹塚店、湘南寒川店、
 新宿西口思い出横丁店、鈴鹿店、住吉店、
 立川店、千歳烏山店、調布店、戸塚店、
 西蒲田店、西五反田店、練馬店、
 練馬中央店、船橋店、三島店、水戸東店、
 武蔵小山店、六泉寺店、大和高田店、
 四日市店、四日市駅前店
 キャピタルホテル1000 株式会社
 共愛学園こども園
 教育ネットフリースクール KOPPIE
 共立女子第二中学高等学校教職員有志
 清瀬・久留米民主商工会
 gooddo 株式会社
 熊谷珈琲店
 株式会社 グリーバル
 株式会社 グリーンワールド
 特定非営利活動法人 KIプロジェクト
 気仙町仲町絆の会
 源造園
 株式会社 光陽社
 国際基督教大学大学院アーツ・
 サイエンス研究科

国際ソロプチミスト 新居浜みなみ
 心屋塾オープンカウンセリング
 小林製薬 株式会社
 合同会社 コマンド A
 コワーキングスペース ヤドカリ
 株式会社 近藤音体研究所
 坂部健康院
 相模 TOBOU会
 SAKE's BAR 酒場 THE陸丸
 SAZAIIE 株式会社
 株式会社 サニーサイドアップ
 産直はまなす陸前高田
 株式会社 シーズンズ
 市民生活協同組合 ならコープ
 ジャズ喫茶 h.i.m.マジック
 自由飲酒党事務局
 旬味旬彩 鮭まつ田
 食堂カフェ仙華園 ×クレープ仙華園
 シンワ 株式会社
 株式会社 STYZ
 生活協同組合 おおさかバルコープ
 学校法人清泉女学院
 清泉インターナショナル学園
 関山街道フォーラム協議会
 全トヨタ販売労働組合連合会
 全トヨタ労働組合連合会
 株式会社 セントラル工業
 有限会社 ソラ
 ダイダシ 株式会社
 高田松原津波復興祈念公園
 国営追悼・祈念施設
 滝沢市立柳沢中学校
 竹ノ輪
 株式会社 玉造温泉まちデコ
 タヤマスタジオ 株式会社
 中華食堂 熊谷

皆さまのあたたかい支えがあり第10期も活動を継続することができました。心より感謝申し上げます。

認定特定非営利活動法人
 中部リサイクル運動市民の会
 長南ビブリオカフェ実行委員会
 株式会社 帝国書院
 伝馬・おたがいさま
 宗教法人 天理教 藤ノ上分教会
 株式会社 東急百貨店
 東京薬科大学学生ボランティア団体
 IVOLEA
 株式会社 常磐木
 徳島県立阿南光高等学校
 徳島県立小松島高等学校
 徳島県立小松島西高等学校勝浦校
 徳島県立徳島北高等学校
 都市開発リサーチ 株式会社
 一般社団法人 トナリノ
 豊田市教職員組合 青年部
 豊田市立足助中学校 環境 JRC委員会
 豊田市立小原中学校
 トヨタモビリティパーツ 株式会社
 トヨタモビリティパーツ 株式会社
 北東北統括支社
 トリオシステムプランズ 株式会社
 トレンドマイクロ 株式会社
 DON DON English
 名古屋市防災危機管理局 危機対策室
 株式会社 ナチュラルプランツ
 奈良・佐保川桜まつり燈火会実行委員会
 新潟さくら倶楽部
 株式会社 nico
 西和賀町立沢内中学校
 NPO法人 日本全国志士協議会
 一般社団法人 日本地域色協会
 公益財団法人 日本デザイン振興会
 日本特殊陶業 株式会社
 一般社団法人 日本老人福祉財団

一般財団法人 日本老人福祉財団佐倉
 (ゆうゆうの里)
 ニューサイクリング図書館
 ニュートンワークス 株式会社
 ネスレ日本 株式会社
 のうとみ整骨院 患者一同
 株式会社 バソナグループ
 幸福の黄色いバンダナの会
 はちどりのひとしづく
 特定非営利活動法人 花と緑のまち
 三鷹創造協会 花壇ボランティア
 花巻市立西南中学校
 公益財団法人 パブリックソース財団
 株式会社 バリューストックス
 ヒューマン RG
 弘果総合研究開発 株式会社
 広田地区コミュニティセンター
 広眺ヶ丘サロン・三々五々
 福井県民 生活協同組合
 福井市ボランティア連絡協議会
 株式会社 富士住建
 プレーメンホームベーカーリー
 株式会社 フロムゼロ
 pen.
 国立大学法人
 北海道大学大学院教育学研究院
 ほのぼのサロン
 ボランティアチーム ゴールド埼玉
 株式会社 ほり川
 ホンダカーズ姫路西網干店
 一般社団法人 マルゴト陸前高田
 株式会社 ミチノク
 株式会社 ミチノク 大船渡支店
 公益財団法人 三菱 UFJ環境財団
 緑のリサイクルソーシャルエコプロジェクト
 名鉄観光サービス労働組合

株式会社 麺食
 メンバーズ IROHA
 学校法人白百合学園 盛岡白百合学園小学校
 盛岡中央ロータリークラブ
 薬王寺
 株式会社 薬王堂
 やぶ屋
 ヤファー 株式会社
 有限会社 ユカデザイン
 雪音
 ユニリーバ・ジャパン 株式会社
 ユニリーバ・ジャパン・
 カスタマーマーケティング 株式会社
 有限会社 吉野屋商会
 特定非営利活動法人 ライフステーション100
 特定非営利活動法人 LAMP
 陸前高田市立小友小学校
 陸前高田市立気仙小学校
 陸前高田市コミュニティホール
 陸前高田市役所
 一般社団法人 陸前高田青年会議所
 陸前高田市立高田小学校
 陸前高田市立高田第一中学校
 陸前高田 箱根山テラス
 陸前高田市立広田小学校
 陸前高田市 ユニバーサル就労支援センター
 陸前高田市立米崎小学校
 リコー社会貢献クラブ・FreeWill
 リコージャパン 株式会社
 若築建設 株式会社 東北支店
 ワコウ建設 株式会社
 株式会社 ONE COMPATH

マンスリーサポーター

浅葉 正美	岩田 達明	金澤 正浩
東 眞弓	及川 登美江	金光 結香
安曇野クロリン	太田 海	川口 真理
天田 輔	尾島 奈緒子	北村 規子
荒川 夏実	小幡 恵美	木村鉄筋工業 株式会社
石川 洋一	小原 仁	株式会社 けいろん
板垣 由美子	小山 賢太郎	代表取締役社長 長谷部蔵之進
今井 洋祐	音楽室さくら咲 la	小高 英雄
岩崎 亘典	kazue omoto	後藤 良平
岩崎 政孝	かどさか	小針 光雄

近藤 栄(さくら FM)	下郷 悟
齊藤 宏樹	生源寺 隆
阪上 浩	白田 佳子
榊原 由紀子	須賀 信平
佐々木 信秋	鈴木 佐知子
佐々木 雄太	鈴木自動車 株式会社
笹野 絹代	鈴木 正子
佐藤 加奈子	高石 祐次
塩田 哲男	竹嶋 美紀
七彩成 株式会社	武田 美代子
篠原 知子	Team29一同
篠宮 武	土山 隆宏・明代

徳田 佳宏	株式会社 ベースホーム	柳澤 浩子
栃木 由香	細田 伸之助	山神 孝志
内藤 宏章	堀崎 薫	山下 文民
中村 顕子	MAKIKO ASAOKA	山科 威朗
西和賀町立沢内中学校	真下 行男	山本 清美
信昭 田加	水澤 千秋	横山 秀
原田 聡子	三谷 麻紀	吉永 ユキ子
原田 亮	株式会社 麺食	吉原 隆成
平出 眞	代表取締役社長 中原誠	和賀 彩子
福岡 千代子	森川 千恵	
福田 美知子	矢口 悦子	
藤本 大祐	やっさん	

※敬称略。50音順にて表記。
 ※個人名は控えさせていただきます。
 ※掲載名は振込名をもとに掲載しています。
 ※寄附の多寡に関わらず協賛寄附・苗木寄附・植樹会参加・
 メンテナンス参加・企画参加していただいた企業や団体名を
 掲載しています。
 ※対象期間は第10期(2020/7/1～2021/6/30)です。
 ※マンスリーサポーターの方は、申込時にメールしたアンケート
 にご回答いただき、掲載をご希望された方のみを掲載して
 います。

支援者さまからの声

活動を支えてくださる皆さま



多摩市
野村 裕宗 様

「陸前高田ってどこ？」停電が続く民家避難所へ照明・TV用の太陽電池を東京から届けた当時はそんな知識だけ。後に、桜ラインを知り、毎春、植樹会に参加していますが、この2年はコロナ自粛で不参加、支援金のみ。最初の植樹地地権者のK夫妻はどうしているかな？Kおばあさんは元気になっているだろうか？次はいつ行けるかな？



松阪市
今西 隆文 様

桜ラインの活動を地元で知り、縁あって派遣職員としてこちらに来て、自分も何か出来れば、と参加させてもらいました。ただ、植樹先が細根沢、と聞いて、津波の威力に唖然としました。地元の方々が明るく生活出来るように、そして私どもも忘れないように、桜を植えさせてもらいました。松阪からまた何度か訪れたいです。



札幌市
中山 美樹子 様

私にも何かできることはないかと、ネットでボランティア情報を調べ、この会を知り、震災から1年後の3月に初めて植樹に参加しました。活動の趣旨に心打たれ、そして、ここまで長く続けられていることに敬意を表します。微力ながら、これからも関わっていただけたらと思っています。



Nestlé Good food, Good life

ネスレ日本株式会社 様

弊社では、“キット、願いかなう。”を合言葉に、受験生や頑張る人々を「キットカット」で応援してきました。人々に希望を感じさせるシンボルとも言える桜を通して、未来に向けた活動をされている桜ライン311様とご一緒する機会を頂いたことに感謝申し上げます。



東北さくらライブプロジェクト
共同代表 澤向 美希 様

当団体では現在もイベント出展や草刈りボランティア等への参加ができない状況が続いていますが、小田和正さんのファンクラブ会報紙にて、桜ライン311さんの大きなテーマでもある「防災・減災」に関するコラム「ダイジョウブ」を事務局の佐藤一男さんに連載いただくなど、微力ですができるところに取り組んでおります。



有限会社ユカデザイン
代表 森井 ユカ 様

弊社では桜ラインのチャリティグッズ(文具のセット)をデザインさせていただいております。春先になると「今年も購入したい」という声がSNSから聞こえてくるのが何よりの励みで、桜ラインに心を寄せてくださる方が沢山いらっしゃることを実感します。これからもグッズを通してこの活動が日本中に繋がっていきますように。



陸前高田市立高田小学校
校長 金野 美恵子 様

「桜ラインと共に」岡本代表の講話とエドヒガン桜の植樹体験をもとに5年生が絵本を作りました。「桜ライン311」の紹介から始まり、復興への想いや震災津波の教訓を子ども達自身が後世に語り継ぐ物語となっています。防災教育を超えた人の生き方、未来志向の力強い歩みが、桜木を介して次代へつながっています。



株式会社ダイナム
代表取締役 保坂 明 様

ダイナムは全国のパチンコホールに来店して下さるお客様とともに、東日本大震災の復興支援に取り組んでおります。植樹活動を通じて震災の教訓を後世に伝えるという桜ライン311の活動趣旨に賛同し、今後も「街と生きるパチンコ」として震災が風化することのないよう桜が育つを見守ってまいります。



ユニリーバ・ジャパン 様

「後世に伝えたい」という長期的で持続的な理念に感銘をうけ、自社製品の売上の一部が寄付されるという形で支援を続けています。企業として日本の未来に貢献するだけでなく、消費者の皆さまにもお買い物を通じて気軽に社会貢献していただける機会を提供できることに、大きな価値を感じています。



キャピタルホテル1000 株式会社
代表取締役社長 松田 修一 様

津波到達地点に17,000本の桜並木をつくる壮大な計画のもと、植樹をはじめ地道で息の長い活動をされている桜ライン311の皆様へ敬意と感謝を表します。この活動が多くの方々から共感を得、未来へのメッセージとして受け継がれることを共に願い、今後も応援させていただきます。



株式会社富士住建 様

桜ライン311様に寄附をさせて頂いて数年になります。植樹の継続には多くのご苦勞もありがたお察し致しますが、震災の体験を後世に残し、また防災に対する知識の普及啓発をする、そんな素晴らしいプロジェクトにかかわれることを誇りに思います。少しでも携わらせて頂くきっかけをくださった桜ライン311様には感謝の気持ちでいっぱいです。



陸前高田市長
戸羽 太 様

桜ライン311の皆様には、津波到達点への桜の植樹活動をはじめとした、震災の記憶を後世に伝えるための活動を継続して取り組んでいただいておりますことに心から感謝申し上げます。今後も、桜を通じた交流や絆が後世に永く伝わることを祈念し、引き続き、多くの皆様とともに桜ラインの活動を応援させていただきます。



株式会社 ONE COMPATH
代表取締役社長 CEO 早川 礼 様

桜ライン311の活動で植樹された桜の場所などを地図上にマッピングする「桜ライン311応援マップ」を運営しています。活動の軌跡をデジタル地図に残す取り組みも10年になろうとしています。地図上に増えていく桜アイコンを見るたびに、皆様の努力が伝わってきます。これからも微力ながら活動を応援してまいります。



株式会社東急百貨店 取締役
常務執行役員 営業本部長 石原 一也 様

桜ライン311様との取組は今年で10回目となり、植樹された桜の木々が毎年着実に増えていくことを大変嬉しく感じております。東急百貨店は、チャリティグッズの販売を通して桜ライン311様の活動を世の中に伝えるとともに、より多くのお客様の防災意識が高まるようお手伝いをして参ります。

毎月定額寄附制度 マンスリーサポーター

桜ライン311では、“桜の育て親”になってくれる方を募集しています。

マンスリーサポーターは、クレジットカードを使った寄附制度です。毎月、自分で決めた金額が自動で引き落とされるシステムのため、簡単に継続的な寄附ができるようになっています。

サポーターの方には、サポーター限定の桜ライン311ニュースレター（年2回）と、活動報告書（年1回）をお届けしています。変わりゆく陸前高田のまちと、桜ライン311の活動が身近に感じられる、情報満載の内容です。

また、特典としてあなただけのオリジナル会員証を発行しています。

1日 **100円** でできること
(3,000円/月)



桜の苗木1本(3mサイズ)を植樹し、1年間守ることができます。

1日 **200円** でできること
(6,000円/月)



学校植樹会を1回開催することができます。
(3本植樹の場合)

※金額は任意での設定も可能です。

お手続きはインターネットからとなります

<https://www.sakura-line311.org/supporter>

いただいたご寄附は上記内容だけでなく、苗木育成管理などの植樹事業や、講演を含む普及・啓発事業など、団体の事業運営のために使用いたします。

認定NPO法人制度に伴い、マンスリーサポーターは税控除の対象となります。(最大50%の減税対象)ご寄附の領収書は、毎年1月、前年の1月から12月までの期間を対象としてまとめ、年1回発行いたします。

マンスリーサポーターの方のみ、個人のお名前を年間の活動報告書に掲載させていただきます。(希望者のみ)

一般のご寄附は、口座振込等にて承っております。詳しくはHPをご覧ください。事務局までお問い合わせください。



長谷部 蔵之進 様

震災直後から一年に一度、最低10年は続けると陸前高田で支援活動をしてきた7年目に桜ライン311の活動を知りました。ホームページを拝見し、また大地震がおとずれた時『桜の木まで逃げろ』の合言葉で多くの人が助かることが想像出来たので、未来の子供達や子孫へ届けるレガシーになると感じ応援させて頂いています。



音楽室さくら咲la
代表 養父 正子 様

2015年1月、セレッソ大阪と音楽が好きな私は、“桜”をキーワードに検索した時「桜ライン311」の活動を知り、震災から半年程で未来の命のために行動を始めた志の高さに衝撃を受け、全国に防災を訴えかける力にも頭が下がりました。その想いに賛同し、170kmの桜並木がピンク色に染まる様子を一緒に夢見ながら、大阪から応援を続けたいと思っています。

支援者さまからの声

地元で活動を支えてくださる皆さま
地権者の皆さま

高田町 高澤 公元 様

地元参加者



市内各地に植えられた桜も増え、春にはキレイに咲いているのを見ることができます。しかしこの桜は、ただの桜ではありません。「命を守る」、私たちは桜に込められた意味を理解し、次代へと紡いでいかなければなりません。紡いだ先に、大勢の人たちが桜のごとく満開の笑顔で溢れるよう、今後も応援していきたいと思えます。

気仙町 泉増寺 管理人 小林 教範 様 (竹駒町在住)

地権者



昔から泉増寺の境内には八重桜や牡丹が綺麗に咲き、近所の方と花見をした思い出が蘇ります。震災時、観音堂につながる石段の途中まで津波があがり、29人が避難してきました。景色も一変しましたが、桜ラインさんに3本の桜を植樹していただき感謝しています。気仙三十三観音の一番礼所でもあり、参拝者や住民に咲いた桜を見て喜んでもらいたい。

小友町 東部デイサービスセンター 管理者 熊谷 敬子 様

地権者



震災から10年、思いは色々だと思います。東部デイサービスも、床下浸水の被害にあいました。後世に「津波の到達地点」を伝えるためデイサービスの周りに、四季桜を植樹していただきました。寒い時期に咲く四季桜を見て気持ちが温かくなり、利用者さんの笑顔が広がります。この活動を支えてくださっている皆さんに感謝します。

広田町 菊池 与喜子 様

地権者



事務所は借地に建っています。そこに2本のしだれ桜が植えられました。植樹された人達は毎年桜の成長を見に来て来てくれます。お話をさせていただき交流をさせていただいております。そして泊ったこともあります。コロナでこの2年間植樹に来ることもできませんが、また会える日を楽しみにしております。

組織概要

2021年6月末現在

名 称	認定特定非営利活動法人 桜ライン311
代 表 理 事	岡本 翔馬
設 立	2011年10月16日
法 人 格 取 得	2012年 5月 1日
認定NPO法人取得	2014年 5月 1日 (更新2019年5月1日)

役 員	代 表 理 事	岡本 翔馬
	副 代 表 理 事	伊勢 友紀 (事務局スタッフ兼任) 中井 勝義
	理 事	中山 大輔 (2021年4月28日辞任) 松田 恵美子 東平 享浩 小川 光一
	監 事	石井 宏明 在間 文康
	事 務 局 長	佐々木 良麻
	事 務 局 ス タ ッ フ	佐々木 正也 矢作 彩子 佐藤 一男 太田 海

受 賞 歴	2012年	一般財団法人日本ファッション協会 日本クリエイション賞
	2014年	公益財団法人日本デザイン振興会 GOOD DESIGN AWARD 2014 金賞
	2015年	一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会 第1回ジャパン・レジリエンス・アワード優秀賞
	2016年	公益財団法人ソロプチミスト日本財団 社会ボランティア賞
	2017年	国土交通省手づくり郷土(ふるさと)賞 一般部門グランプリ
	2017年	公益財団法人日本さくらの会 平成29年度さくら功労賞
	2017年	「東北みらい創りサマースクール」実行委員会 第6回東北みらい賞
	2018年	株式会社毎日新聞社 第7回「地球未来賞」クボタ賞
	2018年	吉野正芳復興大臣より感謝状 授与



会計報告

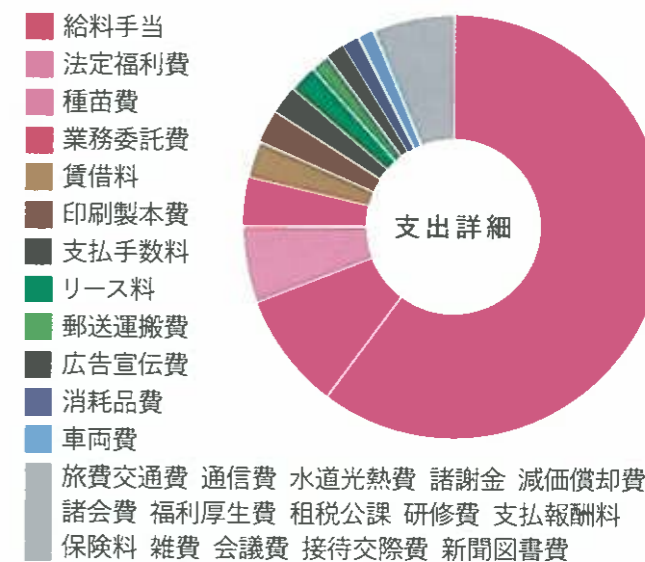
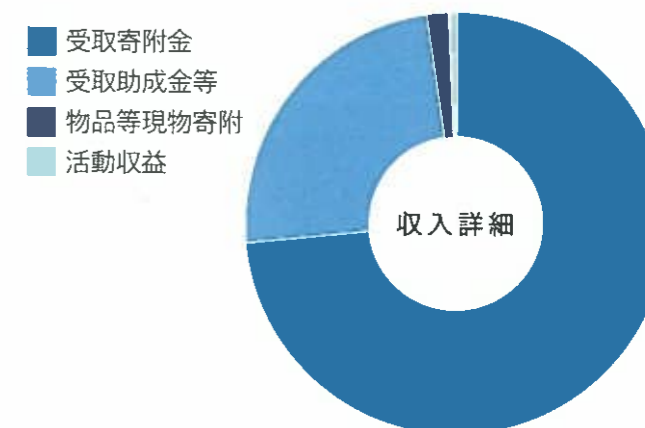
認定特定非営利活動法人桜ライン311 2020年度会計報告

【事業期間】2020年7月1日より2021年6月30日まで

総 額	
前期現金預金等繰越額	27,277,740
当期収入総額	42,340,693
当期支出総額	37,627,565
今期現金預金等繰越額	34,812,071

収入詳細	
受取会費	0
受取寄附金	31,073,850
物品等現物寄附	678,150
受取助成金等	10,323,197
活動収益	265,403
受取利息	93
合計	42,340,693

支出詳細	
給料手当	22,640,400
法定福利費	3,351,299
福利厚生費	141,337
広告宣伝費	528,000
接待交際費	16,374
会議費	26,000
旅費交通費	456,055
通信費	455,658
消耗品費	498,828
水道光熱費	325,862
新聞図書費	4,454
郵送運搬費	576,897
諸会費	146,000
支払手数料	816,327
車両費	457,915
賃借料	1,075,800
リース料	800,660
保険料	65,740
租税公課	75,182
支払報酬料	66,000
減価償却費	210,521
雑費	45,870
諸謝金	271,100
印刷製本費	923,977
種苗費	2,215,601
研修費	69,440
業務委託費	1,366,268
合計	37,627,565



桜ライン311活動基金

前期繰越特定資産	103,033,639
受取利息	856
今期資産額	0
今期特定資産総額	103,034,495

※ 桜ライン311活動基金：
桜ライン311各事業への将来利用を目的として、理事会にて積立 / 取崩し / 管理される基金です。尚、当基金は100%事業への使用となります。

※ 詳細な事業報告等書類につきましては桜ライン311の団体HPよりダウンロード可能になっております。またダウンロード可能な各諸表は、「認定NPO法人等の情報公開」に基づき、「活動報告書、活動計算書、貸借対照表、財産目録、注記事業別経費の状況」の5点です。ご要望いただければこちらから印刷してお送りいたしますので事務局までご連絡ください。